

指定校番号	28016	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立観音小学校	校長	三上正浩	生徒指導主事	別府正己
-----	-----------	----	------	--------	------

**取組事例名** 『児童会活動（冬の集会）』

**取組のねらい**『キーワード：児童のかかわり』

- 児童のより良い集会にしようとするモチベーションを高め、進んで活動する態度を育て、達成感をもたせる。
- 異学年の児童がかかわり合いながらコミュニケーションをとったり、協力したりする。
- 上学年児童は、活動の計画やゲームの運営、グループをまとめることで、思いやりの心を育て、リーダー性を養う。下学年児童は上学年児童の姿勢を見習い、好ましい態度や考え方を身につける。

**取組の具体的内容**『キーワード：楽しむ』

冬期に、計画委員会（児童会）が主催して、全校児童が寒さを吹き飛ばすための集会をする。内容は、縦割り集団でクイズ・ゲームラリーをする。縦割り集団で多くのコーナーを回り、協力し、かかわり合いながらポイント集めを楽しむ。

下学年の各学級は、その学級に関係するクイズを 2 問考えて掲示する。

上学年は、学級毎でゲームを計画し運営する。

また、各委員会はそれぞれの活動に関するクイズを 2 問考えて掲示する。



回る順番を検討中

**取組の課題・創意工夫**『キーワード：全員参加』

児童会活動に、縦割り集団の活動を取り入れることで、児童相互の理解を深め、上学年児童の思いやりの心やリーダー性を育てることができる。また、下学年児童が上学年児童の好ましい態度を見習うことで、観音らしさが継承されていくことも考えている。

その他にも、全ての児童と教師が企画面や運営面でもかかわることができるように、時間の確保の工夫もしている。

先生とジャンケンをして得点を得るゲーム



**取組の成果（効果）**『キーワード：生徒指導の三機能』

この児童会活動を通して、上学年児童は活動をやりきることで達成感や充実感を味わうことができた。さらに、下学年児童のお世話をすることで優しさや責任感をもち、リーダーとしての風格が育ってきた。下学年児童は上学年児童の態度や行動を見て学び、憧れを抱き、親近感をより深め、併せて規範意識も育ってきている。

学校生活の場では、異学年児童に親しく声をかける姿が見られたり、放課後一緒に遊ぶところを見かけたりすることができ、児童間の相互認知、相互理解は高まった。



ゲームの説明を聞く



ゲームに挑戦中

## 今後の展開『キーワード：規範意識の広がり』

縦割り集団の活動は、児童会集会や全校清掃、縦割り遊びでも行っており、児童の中にグループ内の仲間意識は定着してきている。今後、リーダーとして活躍した6年生とのお別れの際に、在校生は、これまでのお返しとして、心のこもったペンダントや歌、演奏をプレゼントすることを考えている。

また、校内にとどまらず地域でも、気軽に声をかけたり、お互いの存在を意識し合ったりすることで、共に刺激し合い、規範意識の定着や広がりを期待している。



ゲームを運営する側も工夫して楽しそう



楽しそうな児童の表情

## 他校へのアドバイス『キーワード：ペア』

縦割り集団の活動は、6・1年、5・3年、4・2年のペアで活動することもある。上学年児童はペア集団のリーダーとして活動を上手くまとめており、そのことが大きな集団への移行をスムーズにしている。